

川岸工業、制服を刷新

新事務服と作業服



創業120年迎え

川岸工業は、本年創業120年目を迎え、新年度から作業服、事務服を全面刷新した。デザイン性、機能性に優れた作業服、事務服（制服）を採用し、全国6工場で一斉に着用すること
で、社員のモチベーションアップと一体感の醸成を図るとともに、社外に向け企業イメージ向上を目指す。

同社の作業服の刷新は数十年前よりとなるが、選定は労働組合を中心とした従業員が行い、デザインや色彩、着心地の加え、ポケットの位置や数、ハートネス着装のしやすさ、難燃性、丈夫さなど作業着としての機能にも着目して候補を絞り、最終的に投票で選ばれた案を会社に要望した。会社は、東西支店の共同購入によるシナジー効果も勘案し、社員のアイデアをそのまま採用した。

新しい作業服、制服の配布は、4月1日の新入社員を皮切りに順次実施し、同月内に全社員に行き渡っている。アイデアを練る段階から社員が参画したこともあり、社内の評判は上々だという。また、ヘルメットの全社統一も予定しており、さらなる団結強化を図る。創業120年目を迎えた歴史の長い同社が、未来に向けて新たなイメージをアピールする。